

1 学校教育目標
教育目標……未来を切り拓く人間性豊かな俵山・深川っ子の育成 重点目標……○学力の定着・向上 ○豊かな心の育成 ○たくましい心と体の育成

2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)
○生徒全員に「わかる・できる」が実感できる授業づくりと学力の定着に向けて日々の授業実践を充実させる必要がある。 ○いじめの根絶、不登校生徒の減少のために、自己肯定感を高め、集団の支持的風土を醸成していく必要がある。 ○地域連携教育、教職員の業務改善をさらに推進させていく必要がある。

3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題
【学力の定着・向上】特別支援教育の知見、言語活動の充実、タブレット端末の有効活用を踏まえた、誰もが「わかる・できる」を実感できる授業実践を積む。 【豊かな心の育成】道徳教育の充実、主体的な生徒会活動の推進、積極的な挨拶の奨励 【たくましい心と体の育成】小中の一貫性あるキャリア教育の推進

4 自己評価				5 学校関係者評価			
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価
学校経営	コミュニティ・スクールとしての取組の充実・深化	・生徒の主体的な地域ボランティア活動や地域行事への参加の取組を継続・充実させ、地域の活性化と生徒の成長につなげる。	○地域連携の取組(R2後期67%) 4:生徒肯定的回答70%以上 3:生徒肯定的回答68%以上 2:生徒肯定的回答66%以上 1:生徒肯定的回答66%未満	3	■「生徒たちは、地域行事やボランティア活動に参加して成長していると思う」という生徒への問いの肯定的回答は、前期65%、後期70%であった。昨年度と同程度の状況である。来年度も直接的な交流活動が実施できない可能性があるため、コロナ禍でもできる地域連携教育の方策を探していきたい。	▼学校行事や交流活動を工夫して実施していることは評価できる。▼地域と学校の双方向でボランティアの窓口ができればと思う。▼学校や地域からSOSを地域に出していけるような策を見出していきたい。▼行事ができるようになれば、中学生の積極的な参加をお願いしたい。▼コロナ禍により行事も少ない中だが、学校だより等で学校の様子を知ることができた。▼学校の様子は保護者には伝わっているが、地域の人には伝わりにくい。やはり交流活動が一番伝わりやすいと思うが、コロナ禍で難しいことを歯がゆく思う。▼HPの更新により見やすく内容が伝わりやすくなった。	A B C D E
	積極的な情報発信	・ホームページを日々更新し、内容を充実させる。 ・校長室だより(週1)と学校だより(月1)の紙面を充実させる。	○情報発信の取組(R2後期88%) 4:保護者肯定的回答92%以上 3:保護者肯定的回答90%以上 2:保護者肯定的回答88%以上 1:保護者肯定的回答88%未満	4	■「学校は、授業参観や学校行事の公開、学校だより、学年・学級通信、HPなどで学校や生徒の様子がよくわかるようにしている」という保護者への問いの肯定的回答は前期89%、後期96%であった。ホームページの更新や紙媒体での各種たより等の発行が、少しずつ成果として表れてきている。		
学習指導	誰もが「わかる・できる」を実感できる授業の実現	・特別支援教育の視点を踏まえた授業づくりを進める。 ・小集団学習を推進する。 ・タブレット端末を活用した授業を試行する。	○「わかる授業」の取組(R2後期89%) 4:生徒肯定的回答90%以上 3:生徒肯定的回答85%以上 2:生徒肯定的回答80%以上 1:生徒肯定的回答80%未満	3	■「授業内容がよく分かり意欲的に取り組むことができている」という生徒への問いの肯定的回答は、前期85%、後期90%であった。2学期からタブレット端末を活用した授業等も始めており、学習の効率性や合理性を考えながら、日々の授業実践を積み、生徒に学びの実感を得させていきたい。	▼授業は教員が最も力を傾けるべきことなので、それを充実できるように学校運営の効率化を図ってほしい。▼タブレット端末を使った授業は今後重要となるが、正しい使い方を指導することが大切だと思う。▼端末を生徒が自由に使えるようにしてほしい。▼先生方はよくやっていただいているので、保護者にも自信をもつて自分の考えを伝えることが大切だと思う。▼日々の学習指導に対する研究や工夫がすばらしい。▼授業参観をしたが、自分の時代とは違う教え方で参考になった。	A B C D E
生徒指導	いじめの未然防止と解決	・情報を共有し、指導・支援方針を明確にして全校体制で未然防止と解決に取り組む。 ・主体的な生徒会活動を推進する。	○いじめ防止の取組(R3後期77%) 4:生徒肯定的回答85%以上 3:生徒肯定的回答80%以上 2:生徒肯定的回答75%以上 1:生徒肯定的回答75%未満	2	■「この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う」という生徒への問いの肯定的回答は前期78%、後期79%であった。日々の学級経営や生徒会活動の成果であるととらえる。しかし、他の項目よりも低い傾向があり、引き続きいじめを根絶する取組を推進していく必要がある。	▼NGワードをなくす取組は継続しなければならない。NGワードを言わないことと同じぐらいNGワードを言われた時の受け止め方や心のスキルアップも必要かもしれない。▼いじめについては、家庭でもNGワードや人の悪口を言わないことが必要であり、根気強く続けていくことが大事である。▼いじめの根絶に向けさらに努力してほしい。	A B C D E
	開発的生徒指導の推進	・不登校生徒の減少をめざし、きめ細かな連携を図る。 ・日常的な教育相談を充実させる。	○「学校が楽しい」(R3後期96%) 4:生徒肯定的回答94%以上 3:生徒肯定的回答92%以上 2:生徒肯定的回答90%以上 1:生徒肯定的回答90%未満	3	■「学校生活が楽しい」という生徒への問いの肯定的回答は前期89%、後期93%であった。肯定率は高いが、否定的回答をしている生徒がいることをしっかりと認識し、充実した学校生活になるように、さらに教職員との信頼関係を構築するとともに、教育活動の充実を図ってきたい。	▼いじめ防止の方針を具体的な行動にまで落とし込んで共有してほしい。▼道徳性のある豊かな生徒の育成をお願いしたい。▼挨拶は小中学校で一貫して大切にしている習慣なのでとてもよい。▼常に明るい挨拶が響く学校に近づいていて、いじめ防止のためにもなっている。▼元気のよい挨拶をこれからも楽しみにしている。▼どういうことで学校が楽しいのか、どういうことが楽しくないのかということを生徒自身が知り、継続または改善するにはどうしたらよいのかを考えたり話し合う場があればよいと思う。▼ヤングプラーのような子どもたちが深川中にいないか気になっている。	A B C D E
	明るく気持ちのよい挨拶の習慣づくり	・俵山・深川みずが学園共通取組事項の一つとして挨拶のレベルを示して指導する。 ・PTAや委員会活動と連携して挨拶運動を活性化させる。	○挨拶の奨励(R2後期は95%) 4:生徒肯定的評価95%以上 3:生徒肯定的回答94%以上 2:生徒肯定的回答93%以上 1:生徒肯定的回答93%未満	3	■「学校や地域で明るい挨拶をしている」という生徒への問いの肯定的回答は前期94%、後期92%であった。引き続き機をとらえて重点的に指導していくとともに、PTA活動や生徒会活動と連携して挨拶運動を活性化させ、爽やかな挨拶を習慣化させていきたい。		
業務改善	勤務状況 時間外在校等時間の縮減	・マイノリ残業デーを設定する。 ・危機対応等の未然防止と早期解決のための体制づくりを強化する。	4:時間外在校等毎月平均45時間以内 3:時間外在校等毎月平均55時間以内 2:時間外在校等毎月平均65時間以内 1:時間外在校等毎月平均65時間超過	3	■4月から12月までの時間外在校等時間は、月平均5.4時間であるが、夏季休業中の8月を除いて平均すると6.6時間である。部活動指導や家庭連絡等やむを得ない業務もあるが、業務を効率よく行う意識を再度高めていく必要がある。	▼SNSの問題等、本来は家庭や地域が様々な課題に立ち向かう必要があると思う。▼夜遅くまで教員がいて、ゆとりのある生活をしてほしいと心から思う。▼長いスパンで時間外業務を少なくできるように取り組んでほしい。▼教員が一人で抱え込むことなく、相談し合っていたいただきたい。	A B C D E

6 学校評価総括(取組の成果と課題)
【学校経営】学校からの情報発信については、学級・学年通信、学校だよりや校長室だより、ホームページなどで積極的に進んでおり、ある程度高い評価を得ている。コロナ禍で人との交流が制限される中、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした教育活動は十分ではなかった。引き続き公民館や小学校と連携し、地域貢献を意識した取組を考えていきたい。 【学習指導】学習については、授業で自分の考えを説明する機会が増えている反面、言語活動の質の高さについては課題を残している。タブレット端末の有効な活用方法について、積極的に研究していく必要がある。 【生徒指導】登校しづりや不登校傾向生徒については、きめ細かく保護者や関係機関との連携に努めているが、減少には至っていない。いじめ防止については、生徒の相談から早期発見につながる事案もあり、信頼関係に基づく組織的対応の成果が表れてきている。 【業務改善】マイノリ残業デー等の取組は定着してきたが、十分な成果が表れていない。

7 次年度への改善策(重点取組事項)
【学校経営】引き続き積極的に情報発信に努めるとともに、好事例を参考にしてコロナ禍でもできる地域住民との交流を図っていく。 【学習指導】授業中の言語活動を充実させるとともに、タブレット端末の利便性や効率性を生かした活用方法を研究していく。 【生徒指導】チャレンジ目標の一つとして「挨拶」を掲げ、PTA等と連携してより積極的な取組を展開していく。 【業務改善】20時以降の残業制限、効率のよい業務についての研修等、具体的な取組を実行していく。